

市民の声

川は生きています ゴミをすてないで

事件がおきたりあらそいがあつたりすると、必ず口から出る言葉があります。その言葉は「水に流して」という言葉です。家中川につかえたみんなの流した山のようなゴミを一輪車で自動車のところまで、どろだらけになつてひきだして運んでいる市職員をみて私はたいした罪意識もなく捨てている主婦の多いことに驚き憤がいさえおぼえました。「水に流す」こんな言葉は、日本語からなくしたいものだといふ時はど強く感じたことはありません。

私の近所にも、夜九時頃人目をしのんでこっそり川にゴミやびんガラス等を捨てている主婦が何人かおられます。こうした人達は、自分だけよければ人の迷惑は考えられないのでしょうか。ゴミ袋も買わずゴミ停留所にもゴミを出さない人が案外多いように思われます。でなければ、こんなに家中川がゴミだらけになるはずがありません。また、商店や魚屋、飲食店等で魚の木箱、ダンボール、ビニール、ハッポースチロール、洗剤のビン等平然と川に流している方もあります。

ゴミのないきれいな住みよい町づくりのため、私達母親がみんな力を合せ町をきれいにするため主婦はなにをなすべきか。市はなにをすべきかを明らかにして実行すべきだと思います。市にあしろ、こうしろと注文を出す前に私達主婦が力を合せ、心を合せて川にゴミを捨てないよう運動をおこしたいと一人でなやんでいるところです。子供達に笑われないよい母親になるためにも、私達母親が言葉だけでなくよい事を実行にうつし模範を示すことが大切ではないでしょうか。

(下谷一主婦)

スケート教室に参加して

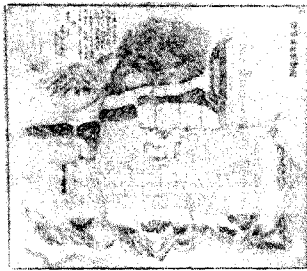
禾一小三年 山本美香



わたしは朝、天気はどうかない！としんばいでした。外をみたら晴れていたの、よかつたなあーと思いました。お母さんが、つくってくれたおにぎりをバックの中へしまつて、手ぶくろやおやつも入れました。わたしと妹と二人で三号車にの

今月のふるさとカレンダー

写真説明



甲州谷村城絵図
秋元公三代居城時代(一六三三年一六七五年)の絵図で、谷村(館)と勝山城を合わせて一城として描かれている。絵図には谷村大堰(現在の家中川)も整備されている有様が、はっきりと描かれています。谷村城の本丸があった場所は、現在の谷一小体育館周辺と考えられます。なお、この絵図は秋元家の末裔秋元春朝氏が寄贈したものです。

市民暦(ふるさとカレンダー)づくりに参加しましょう。
応募方法等は一月号の広報をご覧ください。

“指名参加願ひ”

2月末日までに

昭和56年度において都留市が行なう工事、製造の請負、または物件を供給しようとする場合には、財務規則により指名参加願ひを提出していただくことになっています。

指名を希望されるかたは、所定の様式「指名参加願」に関係書類を添えて、期日までに提出してください。

◇指名(入札)の対象となるもの

- (1) 工事の請負(施設の修繕など)
- (2) 物品の供給(備品、消耗品、原材料等)

◇受付期間 2月1日～2月末日

◇受付場所 管理課契約係

◇提出書類 指名参加願

(用紙は管理課へ)



り、うしろのせきにすわりました。ハイランドについて、教育長さんの話をきいて、体をすました。それから、スケートリンクのそばで、スケートぐつをはいてすべり

はじめました。わたしは、学校の友だち七人でスケートの先生にスケートの後ろにすべるやりかたと止まりかたをならいました。そして、うしろでもすべれるようになりまし。お昼になったのでおにぎりをたべて、おやつをたべました。そして、レクリエーションにもさんかしました。1、2、3、4とみかんにペンですうじがかいてあり、(1)がガム、(2)がチョコ、(3)があめ、(4)がホカロンでした。わたしは「あめ」で、妹は「ホカロン」でした。わたしは、スケート教室で後にすべれるようになってほんとうによかったと思った。そして、たのしくすべれてよかったなあーと思いました。

ゴミ公害から

自然を守ろう

市政モニター